

社会教育委員 だより



▲ 伊那市高遠町の五郎山にて仁科五郎盛信について説明を受けました。

TOPIX

- ・平成26年8月21日 第2回会議（於伊那市役所）を開催し、社会教育委員会で重点的に議論する生涯学習基本構想のテーマを決定しました。
- ・平成26年9月17日 長野県社会教育研究大会（於長野県総合教育センター）に参加しました。
- ・平成26年11月5日 第3回会議（於高遠町文化センター）を開催し、生涯学習基本構想に関する協議を行うとともに、伊那市の財政状況についても研修を行いました。「社会教育委員発！我がまちのいいところ10選」研修視察を行いました。
- ・平成27年2月10日 上伊那地区社会教育委員研修会（於辰野町民会館）に参加しました。



伊那市生涯学習基本理念

——共に学び、今に生かし、更に深め、未来へとつなぐ——

社会教育委員発！ 我がまちのいいとこ十選

社会教育委員の実践活動として取り組んでいる「いいとこ十選」は自分の地域の「いいとこ」を他地域在住の社会教育委員に紹介する取組です。社会教育委員の取組の6つの柱のうち「深く掘り下げて見る『目』を持つ」活動として位置付けて実施していますが、大別すると次のような効果が期待できそうです。

- ① 「いいとこ」を広く知ってもらうことができる（周知・認知）。
- ② 紹介・説明する社会教育委員自らが「いいとこ」について学びを深め、伝える力を磨く機会となる（深耕・学び）。
- ③ 「いいとこ」の関係者と顔が分かる関係になる。また、絆を深められる（交流）。

いいとこ十選の活動は伊那市公式サイトにも掲載をしていますので、社会教育委員が推薦する伊那市内の「いいとこ」を市民の皆様にもご覧いただけます。伊那市のまちの良さを再発見しませんか。

以下は平成26年11月5日に実際に訪れた場所の紹介です。

■五郎山の仁科五郎盛信公の祠と見下ろす絶景



北原公雄委員の推薦で、職員の案内のもと旧高遠城主の仁科五郎盛信公の祠を訪れました。天正10年、武田信玄の五男である仁科五郎盛信は織田勢との圧倒的な兵力差の戦いのなか、高遠城内で壮絶な死を遂げます。戦いの後、地元の百姓が盛信公の亡骸を茶毘に付し、この山へ埋めたと伝えら

れています。祠のある平らからは、高遠町全体を見下ろすこともでき、絶景を目の当たりにできました。

■本学山 弘妙寺



こちらにも北原公雄委員推薦のお寺です。伊那市高遠町荊口に堂を構え、パワースポットであるとの評判やゴルフ寺の異名もあります。天然のカラマツを使って建造され線香の煙が二筋になるというお堂、目を見張る天井画・仏像などもあり、一見の価値があるお寺です。

■高遠町図書館



高遠町図書館の収蔵庫を図書館職員に案内してもらいました。庫内は書籍や整理された大量の史料が収蔵されており、収蔵されている古地図を解説いただいたほか、資料のデジタルアーカイブ化やスマートフォンアプリ「高遠ぶらり」をはじめとする取組や高遠町図書館を取り巻く課題をお聞きしました。

社会教育委員の役割と取組 ～地域をよくするために～

■地域をよくすることが使命です

社会教育委員はどのような役割を持って、何をしているのでしょうか。社会教育（生涯学習）という範囲が広すぎてわかりにくい面もあります。ちょっとここで整理して、再度確認してみましよう。

■社会教育全般に関わって、行政に提言します
伊那市の社会教育委員は次の6つの柱で活動しています。

I 現場へ「足」を運ぶ

～机上の空論では意味がない～

視察はもちろん、一般の参加者として各催しに実際に参加します。経験し現状を知ること、適切な対策が見えるかもしれません。

II 日頃から「手」に汗を握る

～自分がやらずして、人には言えない～

日頃の実践と成果の社会還元を継続することで、生涯学習の重要性を体現します。有言実行、手に汗を握って自ら学び、発信します。

III 市民から「顔」が見える

～存在と役割を知ってもらうために～

誰が何をやっているのか、意識しないとなかなか見えにくいものです。社会教育委員会は年4回開催されるほか、数回の研修を行っています。委員会の議事録を市公式サイトに公開、活動内容を知ってもらう「社会教育委員会だより」を年2回発行しています。

IV 些細な事でも聴く「耳」をもつ

～個を知ることは、全容解明の第一歩～

「聴く」ことは基本的な心構えではありますが、非常に大切なことであると捉え、柱の一つに掲げています。地域の話題についてもアンテナを張って、キャッチしたものは委員会内で共有します。

V 深く掘り下げて見る「目」を持つ

～特色を捉え、生かし、発展させる～

様々な知恵・知識・体験・経験こそが発展の礎

です。「社会教育委員発！ 我がまちのいいとこ十選」をはじめ、様々な研修を行い、知見を深めるとともに感性を養います。

VI 腹に納めず「口」に出す

～問われて答え、そうでなくても言う～

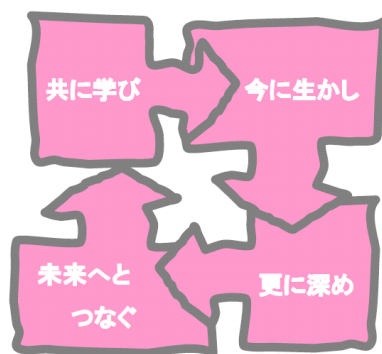
受動的な姿勢では積極的な変化を起こすことは難しいものです。社会教育委員は、地域をよくするために、常に改善しようとする姿勢を持ってあらゆる事業に臨みます。また、社会教育委員は一般市民の声を吸い上げ、生涯学習基本構想の進行管理などを通じて、行政に提言を行います。行政側も、経験豊富な委員と問題点の共有をし、ともに解決方法を探ります。

■お気軽にご相談ください

社会教育委員は下記のメンバーです。直接でも、市の担当部署を通じてでも結構です。お気軽にお声かけください。

伊那地区	馬場 武志
富県地区	中村 幸子
美篁地区	平澤 眞
手良地区	上島 房江
東春近地区	井上 祐一
西箕輪地区	小林 恵子
西春近地区	唐木 孝雄
高遠町地区	北原 公雄
高遠町地区	鈴木 岬
長谷地区	北原昭三郎
事務局	生涯学習課 0265-78-4111





伊那市社会教育委員だより

編集・発行 伊那市教育委員会生涯学習課 〒396-8617 伊那市下新田 3050 番地

電話：0265-78-4111（内線 2723） F A X：0265-72-4142

Eメール：sgs@inacity.jp

お問い合わせなどはこちらへ

